

あなたにも、知ってほしい。「献血」のこと



「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を無償で提供することです。病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があり、これを「輸血」といいます。また、「血漿分画製剤」は、やけどや感染症、血友病の治療などに使われる医薬品で、血液からつくられます。



1日およそ3,000人の方が、病気やけがの治療のため、血液を必要としています。



血液は、長期保存ができず、人工的に造ることもできないため、1年を通じて継続的な献血へのご協力をお願いしています。



献血についての詳しい情報は日本赤十字社のホームページをご覧ください。
日本赤十字社 献血 [検索](#)



ここ10年で、10代～30代の献血者数が約30%減少しています。
今、若い方の協力が特に重要なのです。

【献血ができる年齢】

	200ml献血	400ml献血	成分献血
男	16歳から	17歳から	18歳から
女		18歳から	



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare